

北里大学病院 臨床検査基準値一覧

北里大学病院 臨床研究推進センター Ver. 15 2026年9月2日作成

臨床検査部：2026年8月21日改定版準拠

作成責任者： 及川 淳

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意								
【血算・凝固線溶】																				
血算一式(末梢血液一般検査)																				
WBC(白血球)	3.3-8.6	× 10 ³ /μL	有	半導体を用いた フローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混 和								
RBC(赤血球)	M: 4.35-5.55 F: 3.86-4.92	× 10 ⁶ /μL	有	シーフローDC検出法																
Hb(血色素量)	M: 13.7-16.8 F: 11.6-14.8	g/dL	有	SLSヘモグロビン法 (Sodium Lauryl Susfate)																
Hct(ヘマトクリット)	M: 40.7-50.1 F: 35.1-44.4	%	有	シーフローDC検出法																
MCV	83.6-98.2	fL	有	計算式による																
MCH	27.5-33.2	pg	有	計算式による																
MCHC	31.7-35.3	g/dL	有	計算式による																
RDW-CV	11.6-14.0	%		シーフローDC検出法																
血小板	15.8-34.8	× 10 ⁴ /μL	有	シーフローDC検出法																
白血球分類(SDIFF)																				
Neutrophil (NEUT)	38.0-74.0	%		半導体を用いたフローサイトメトリー 法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混 和								
Eosinophil (EOSINO)	0.0-8.5	%																		
Lymphocyte (LYMPH)	16.5-49.5	%																		
Monocyte (MONO)	2.0-10.0	%																		
Basophil (BASO)	0.0-2.5	%																		
好中球数	設定なし	/μL	有																	
総リンパ球数	設定なし	/μL	有																	
網赤血球数	M:3.48-12.21 F: 3.09-10.82	× 10 ⁴ /μL		半導体を用いたフローサイトメトリー 法									EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混 和
網赤血球(%)	0.8-2.2	%		半導体を用いたフローサイトメトリー 法									EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混 和
臍帯血セット(血算・分類)	設定なし				臍帯血	A管	不可	2	2	当日 中		採血後すぐ混 和								
PT(血漿プロトロンビン時間)	11.0-14.0	sec		散乱光度法(凝固時間法)	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
PT-%	80-120	%										採血後すぐ混 和								
PT-INR	設定なし		有									採血後すぐ混 和								
APTT (活性部分トロンボプラスチン時間)	24.0-39.0	sec	有	散乱光度法(凝固時間法)	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
FIB(Fibrinogen)	200-400	mg/dL	有	散乱光度法(凝固時間法)	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
可溶性フィブリン(SF)	7.0未満	μg/mL		ラテックス免疫比濁法	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
プラスミン・α 2PI複合体(PIC)	0.8未満	μg/mL		ラテックス免疫比濁法	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
ATⅢ	80-130	%		吸光度法(合成基質法)	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
FDP (フィブリン・フィブリノゲン 分解産物定量)	5.0未満	μg/mL	有	ラテックス免疫比濁法	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
Dダイマー	1.0以下	μg/mL	有	ラテックス免疫比濁法	ケ>酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混 和								
クロスミキシング試験 (凝固因子インヒビター定性)	設定なし			散乱光度法	ケ>酸血漿	B管	不可	1.8	1.8	当日 中	×	採血後すぐ混 和								
IPF(Immature Platelet,Fractionr, レチプレート)	0.9-6.7	%		半導体を用いたフローサイトメトリー 法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混 和								
ED27血小板数 (ED27-PLT)	15.8-34.8	× 10 ⁴ /μL		シーフローDC検出法	EDTA全血	ED27管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混 和								
目視血小板数(PLT-EYE)	15.8-34.8	× 104/μL		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	60分	×	採血後すぐ混 和								
破砕赤血球%(FRA)	0-0.5	%		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日 中	×	採血後すぐ混 和								
血中寄生虫検査(マラリア)	(-)			目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日 中	×	採血後すぐ混 和								
白血球目視分類(末梢血液像)																				
Myeloblast (MYEL-B)	0	%		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日 中	×	採血後すぐ混 和								
Promyelocyte (PRO-M)	0																			
Myelocyte (MYELO)	0																			
Metamyelocyte (MET-M)	0																			
Band form (STAB)	0.5-6.5																			
Segment form (SEGMNT)	38.0-74.0																			
Eosinophil (EOSINO)	0.0-8.5																			
Lymphocyte (LYNP)	16.5-49.5																			
Monocyte (MONO)	2.0-10.0																			
Basophil (BASO)	0.0-2.5																			

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
A-LYMP	0									当日 中		
EBL(赤芽球)	0	/100WBC								当日 中		
出血時間(Duke法、Bleeding Time)	1.0 - 5.0	min		Duke法	耳朶血					15分	×	患者が中央採 血室に 来室(ストレッチャー 出張)
赤沈(ESR)	M:2-10	mm/H	有	キャピラリーフォトメトリー法	EDTA全血	赤沈管	不可	2	2	18分		採血後すぐ混 和 採血量厳守 2023年5月25日 より方法・採 血管変更
	F:3-15											
末梢血 NAP(好中球アルカリフォスファターゼ)												
NAP-SCOR	M:170-335			朝長法	末梢血	スライドガラス	不可	適宜	適宜	2日	×	患者が中央採 血室に 来室(ストレッチャー 出張) 塗抹標本作成 のため要TEL ☎ 8524
	F:189-367											
NAP-RATE	M:61.0-100.0 F:68.0-100.0	%										
末梢血 Peroxidase	設定なし			ジアミノベンジン法(DAB法)	EDTA全血	A管				2~3 日	×	
末梢血 Esterase	設定なし			αナフチルプチレート-ASDクロロ アセテート 2重染色法	EDTA全血	A管				2~3 日	×	
骨髓像												
骨髓 Peroxidase	別紙報告			ジアミノベンジン法(DAB法)								
骨髓 PAS	別紙報告			Periodic-Acid Schiff反応 (過ヨウ素酸シッフ反応)		A管	不可	0.3	2	5~7 日	×	骨髓像検査依 頼書提出
骨髓 鉄	別紙報告			ベルリン青法								
骨髓 Esterase	別紙報告			αナフチルプチレート-ASDクロロ アセテート 2重染色法						2~3 日		
血小板粘着能(Platelet Adherence) コラーゲン法	30-70	%		コラーゲンカラム法 Savzman法	EDTA血:前 EDTA血:後	A管	不可	前後 各2.0	前後 各2.0	30分	×	要予約 ☎8524 食待ち検査室 採血
血小板凝集能(Platelet Aggligation) ADP他	ADP 1.0μM >50 2.5μM >60 5.0μM >70	%		光電光度計による 比濁法(Born法)	ヘパリン血漿	B管 3本	不可	各1.8	5.4	当日 中	×	要予約 ☎8524 食待ち検査室 採血
【穿刺液】												
髄液蛋白	10-40	mg/dL						0.2				
髄液糖	50-75	mg/dL				滅菌スリット		0.2				
髄液細胞数	0-5	コ/μL					不可	0.5	1	60分		
髄液 P:M比	設定なし							0.5				
IgG[髄液]	0-4	mg/dL		TIA法	髄液	滅菌スリット	凍結	0.5	5	45分		
【生化学・免疫】												
グリコヘモグロビン(HbA1c)	4.6-6.2(NGSP)	%		酵素法	G管血球	G管	冷蔵	0.5	2	40分		追加は当日ま で
血糖	73-109	mg/dL		HK-G6PDH 法	G管血漿	G管	冷蔵	0.5	2	40分		追加は1時間以 内
血糖(血清)	73-109	mg/dL		HK-G6PDH 法	血清	C黄管	凍結	0.5	2	40分		採血後速やか に提出
グリコアルブミン(GA)	11.0-16.0	%		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	3	40分		
総蛋白(TP)	6.6-8.1	g/dL	有	ビウレット法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
アルブミン(Alb)	4.1-5.1	g/dL	有	改良BCP 法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
総ビリルビン (T-Bil)	0.4-1.5	mg/dL	有	バナジン酸酸化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
直接ビリルビン(D-Bil)	0.3以下	mg/dL		バナジン酸酸化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
尿素窒素(UN)	8.0-20.0	mg/dL	有	イソクエン酸脱水素酵素(ICDH) によるアンモニア消去法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
クレアチニン(CRE)	M 0.65-1.07	mg/dL	有	酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 0.46-0.79	mg/dL										
eGFR	60以上	$\frac{mL}{min/1.73m^2}$		日本腎臓病学会(2008) 日本小児腎臓病学会(2019) の計算式による								年齢、性別、 身長、CRE値よ り計算
尿酸(UA)	M:3.7-7.0	mg/dL	有	ウリカーゼ POD 法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:2.6-7.0	mg/dL										
AST(GOT)	13-30	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて上昇
ALT(GPT)	M:10-42 F:7-23	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
アルカリフォスファターゼ(ALP)	38-113	U/L	有	IFCC法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2020年4月1日 よりIFCC法
γ-GTP	M 13-64	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 9-32	U/L										
血清コリンエステラーゼ(S-CHE)	M:240-486 F:201-421	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
LD(LDH乳酸脱水素酵素)	124-222	U/L	有	IFCC法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて上昇 2020年4月1日 よりIFCC法
CK(CPKクレアチンキナーゼ)	M 59-248 F 41-153	U/L U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
アミラーゼ(AMY)	44-132	U/L		JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
膵型アミラーゼ(P-AMY)	15-50	U/L		JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2023年8月8日 より院内導入
リパーゼ(LIP)	16-55	U/L		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
総胆汁酸(TBA)	10.0未満	μmol/L		酵素サイクリング法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	30-70	U/L		L-ロイシル-P-ニトロアニド 基質法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CRP定量	0.14以下	mg/dL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2020年4月1日 より高感度
総コレステロール(T-Chol)	142-248	mg/dL	有	COD-POD 酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
中性脂肪(TG、トリグリセライド)	M:40-149 F:30-149	mg/dL	有	FG消去酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		空腹時が望ましい
HDLコレステロール(HDL-C)	M 40-90 F 40-103	mg/dL mg/dL		選択的抑制法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
LDLコレステロール(LDL-C)	65-139	mg/dL		選択的可溶化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Na(ナトリウム)	138-145	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
K(カリウム)	3.6-4.8	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CL(クロール)	101-108	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Ca(カルシウム)	8.8-10.1	mg/dL	有	MXB法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
IP(無機リン)	2.7-4.6	mg/dL	有	酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Fe(血清鉄)	40-188	μg/dL μg/dL		パソフェナントロリン 直接法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
TIBC(総鉄結合能)	M 250-380 F 250-450	μg/dL μg/dL		パソフェナントロリン 直接法(計算法)	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
UIBC(不飽和鉄結合能)	191-269	μg/dL		パソフェナントロリン 直接法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Mg(マグネシウム)	1.8-2.4	mg/dL		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CK-MB	12以下	U/L		免疫阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
トロポニンT	0.014以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて低下 追加は当日まで
ミオグロビン	M: 97.0以下 F: 74.0以下	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
NT-Pro BNP	55以下	pg/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	3	40分		2020年10月9日 より院内導入
乳酸	4.0-16.0	mg/dL		酵素法	FH血漿	FH管	凍結	0.5	2	40分		
アンモニア	12-66	μg/dL		酵素法	ヘパリン血漿	H管	不可	0.5	2	40分		氷冷直出、 溶血にて上昇
重炭酸塩	M: 22.5-26.9 F: 21.8-26.2	mmol/L		酵素法	血清	C黄管	不可	0.5	5	40分		採血量3mL以上 を推奨 (少ないと負 誤差)
動脈血ケトン体比(AKBR)	0.7以上			酵素サイクリング法								
アセト酢酸	70以下	μmol/L		酵素サイクリング法	ヘパリン血漿	H管	不可	0.5	2	40分		氷冷直出
3-ヒドロキシ酪酸	80以下	μmol/L		酵素サイクリング法								
ケトン体分画	設定なし	μmol/L		酵素サイクリング法								
アセト酢酸	14-68	μmol/L		酵素サイクリング法	血清	C黄管	凍結	0.5	2	40分		
3-ヒドロキシ酪酸	74以下	μmol/L		酵素サイクリング法								
浸透圧(OSMO)	282-297	mOsm /kg・H ₂ O		氷点降下法	血清	C黄管	凍結	0.5	3	60分		
A/G 比	1.32-2.23			計算法 ALB/(TP-ALB)	血清	C黄管	凍結	0.5		40分		治験のみオー ダー
プレアルブミン(トランスサイレチン)	22.0-40.0	mg/dL		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
レチノール結合蛋白(RBP)	1.7-5.6	mg/dL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
亜鉛(Zn)	80-130	μg/dL		直接法(キレート比色法)	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		速やかに分離 凍結 早朝空腹時採 血が望ましい
RF(リウマトイド因子)	15以下	IU/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
KL-6(シアリル化糖鎖抗原)	500未満	U/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
SP-D(サーファクタント蛋白D)	109.8以下	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2024年6月28日 より院内導入
MMP-3(マトリックスメタロproteinase-3)	M: 35.2-123.8	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F: 16.1-56.8											
LRG(ロインリッチα2'リコf蛋白)	16.0未満	μg/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2026年2月13日 より院内導入
インスリン	1.15-12.15	μU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血不可、 追加は当日まで
TSH(甲状腺刺激ホルモン)	0.50-5.00	μIU/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
FT3(遊離トリヨドサイロニン)	2.30-4.00	pg/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
FT4(遊離サイロキシン)	0.90-1.70	ng/dL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
TRAb(TSH抗レセプター抗体)	2.00未満	IU/L		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血不可、低値 追加は3日まで
サイログロブリン(Tg)	33.70以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
抗サイログロブリン抗体(抗TgAb)	28未満	IU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)	16未満	IU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
HCG (ヒト胎盤絨毛性ゴナドトロピン)	M: 2以下 F: 3以下	mIU/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
エストラジオール(E2)	M: 14.6-48.8 F: 卵胞期 28.8-196.8 排卵期 36.4-525.9 黄体期 44.1-491.9 閉経後 47.0以下 妊娠女性 初期 208.5-4289 中期 2808-28700 後期 9875-31800	pg/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
黄体形成ホルモン(LH)	M: 1.7-8.6 F: 卵胞期 2.4-12.6 排卵期 14.0-95.6 黄体期 1.0-11.4 閉経期 7.7-58.5	mIU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2023年1月20日 より院内導入
卵胞刺激ホルモン(FSH)	M: 1.5-12.4 F: 卵胞期 3.5-12.5 排卵期 4.7-21.5 黄体期 1.7-7.7 閉経期 25.8-134.8	mIU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2023年1月20日 より院内導入
プロゲステロン	M: 0.2以下 F: 卵胞期 0.3以下 排卵期 5.7以下 黄体期 2.1-24.2 閉経期 0.3以下 妊娠女性 初期 12.0-51.8 中期 24.3-82.0 後期 63.5-174.4	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は5日以内 2023年1月20日 より院内導入
プロラクチン(PRL)	M: 4.29-13.69 F: 閉経前 4.91-29.32 閉経後 3.12-15.39	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2023年1月20日 より院内導入
コルチゾール	6-10時 7.07-19.60 16-20時 2.96-9.77	μg/dL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は4日以内
ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	7-10時 7.2-63.3	pg/mL		ECLIA法	血漿	A管氷冷	凍結	0.5	2	40分		EDTA過剰で偽低値 採血量厳守、溶血不可、氷冷提出 追加不可
副甲状腺ホルモン(PTH-インタクト)	10-65	pg/mL		ECLIA法	血漿	EDTA管	凍結	0.5	2	40分		氷冷提出、追加不可 溶血不可

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
プロカルシトニン【血液】	参考基準値: 0.046 細菌性敗血症診断 カットオフ値 <0.5:重症敗血症 リスク低い ≥2.0:重症敗血症 リスク高い	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
IgG	861-1747	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
IgA	93-393	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
IgM	M:33-183	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:50-269											
IgG4	11.0-121.0	mg/dL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2024年6月28日より院内導入
フェリチン(FERRITIN)	M 13-277	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 5-152											
C3(β1C/β1Aグロブリン)	73-138	mg/dL		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
C4(β1Eグロブリン)	11-31	mg/dL		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CH50(血清補体価)	25-45	U/mL		補体溶血法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加検査不可
可溶性インターロイキン2レセプター	122-496	U/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2018年3月30日より院内導入
CEA(癌胎児性抗原)	5.0以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
AFP(α-フェトプロテイン)	10以下	ng/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
CA19-9	37以下	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
CA125	35以下	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
CA15-3	25以下	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
CA72-4	6.9以下	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
PSA(前立腺特異抗原)	4.00以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで 2017年10月10日より方法変更
PIVKA II	40未満	mAV/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		
TPLA(梅毒検査)	(-) 10未満	U/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(±) 10-19	U/mL										
RPR(梅毒検査)	(-) 1.0未満	R.U.		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(±) 1.0-2.9	R.U.										
HBs抗原定量(B型肝炎ウイルス表面抗原)	(-) 0.005未満	IU/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可 2020年4月1日より試薬変更
HBs抗体(B型肝炎ウイルス表面抗体)	(-) 10未満	mIU/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
HCV抗体(C型肝炎ウイルス抗体)	(-) 1.0未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
	(判定保留) 1.0-1.9	C.O.I.										
HBc抗体(B型肝炎ウイルスコア抗体)	(-) 0.8未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
	(判定保留) 0.8-1.1	C.O.I.										
HIV-1,2抗原抗体(CLEIA法)	(-) 1.0未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
HIV-1,2抗原抗体(CLEIA法) 術前・病院負担	(-) 1.0未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
SARS-CoV-2抗原定量	(-) 1.00未満	pg/mL		CLEIA法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ	冷蔵	適宜	適宜	80分		
術中腫アミラーゼ	設定なし	U/L		JSCO標準化対応法	唾液	滅菌ビッツ	凍結	0.5	5	60分		50A伝票と一緒に提出
腹水溶血チェック	設定なし			比色法	腹水	C黄	凍結	0.5	5	45分		

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【血液ガス】												
動脈血ガス					ヘパリン血液 (動脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5	5分		採血後気泡除 去し 直ちに提出
pH	7.350 - 7.450		電極法									
pCO2	35.0-45.0	mmHg										
pO2	80.0以上	mmHg										
重炭酸イオン	21.0-27.0	mmol/L	計算式による									
BE	-2.3 - +2.3	mmol/L										
酸素飽和度	95以上	%										
Caイオン	1.15-1.35	mmol/L	電極法									
酸素化Hb	94.0-97.0	%										
還元Hb	5.0以下	%										
カルボキシHb	1.5以下	%										
メトHb	1.5以下	%										
末梢静脈血					ヘパリン血液 (末梢静脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除 去し 直ちに提出
中心静脈血					ヘパリン血液 (中心静脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除 去し 直ちに提出
混合静脈血					ヘパリン血液 (混合静脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除 去し 直ちに提出
【尿化学】												
24時間CCR	69.0-175.0	L/day		24時間1回計算法	血清 蓄尿	C黄管 U1管	冷蔵 (凍結可)	0.5 0.5	5	45分		
尿中蛋白定量	設定なし	mg/dL		ピロガロールレッド法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		蓄尿参考値： 20~120 mg/day
尿中糖定量	設定なし	g/dL		HK-G6PDH 法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		蓄尿参考値： 40~85 mg/day
尿素窒素(UN)	設定なし	mg/dL		ウレアーゼUV 法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
クレアチニン(CRE)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		蓄尿参考値： 0.5~1.5 g/day
尿酸(UA)	設定なし	mg/dL		ウリカーゼ POD 法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
OSMO(浸透圧)	参考基準範囲 (590-1010)	mOsm /kg.H2O		氷点降下法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	60分		
Na(ナトリウム)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
K(カリウム)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
CL(クロール)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
Ca(カルシウム)	設定なし	mg/dL		MXB法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
IP(無機リン)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
Mg(マグネシウム)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
尿中微量アルブミン	設定なし	mg/L		TIA法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
尿中微量アルブミン	0.0-16.0	mg/g・Crea		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
アミラーゼ(AMY)	設定なし	U/L		JSCO標準化対応法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
膵型アミラーゼ(P-AMY)	設定なし	U/L		JSCO標準化対応法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		2023年8月8日 より院内導入
尿中NAG (N-アセチルグルコサミニダーゼ)	0-10.9	U/L		MPT- NAG基質法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
ミオグロビン	設定なし	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	任意尿 蓄尿	U1管	不可	0.5	5	45分		当日のみ
IgG	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
IgA	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
IgM	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
推定蛋白摂取量の算出	設定なし	mg/day		蓄尿BUN、 蓄尿量、体重より算出	蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
推定1日食塩摂取量の算出	設定なし	g/day		任意尿Na Cre 身長、 体重、年齢より算出	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【一般検査】												
定性一式＋沈査 AUTO					尿	黄スビッヅ	不可	10	10	30分		
定性一式					尿	黄スビッヅ	不可	10	10	15分		
比重	1.005－1.030		試験紙法									
pH	5.0－7.5											
糖	(－)											
蛋白	(－)											
潜血	(－)											
ケトン体	(－)											
ビリルビン	(－)											
ウロビリノーゲン	(＋－)											
亜硝酸塩	(－)											
尿沈渣					尿	黄スビッヅ	不可	10	10	30分	一部 項目	検査量未満の 場合は要相談 蓄尿では検査 不可
赤血球	<5	毎視野 HPF									×	
白血球	<5	毎視野 HPF										
上皮											×	
円柱											×	
結晶											×	
細菌												
マルベリー小体					尿	黄スビッヅ	不可	10	10	当日 中	×	検査量未満の 場合は要相談 蓄尿では検査 不可
気管支洗浄液一式		/μL %					不可			60分	×	
HCG定性(ヒト胎盤絨毛性ゴナド ロピン、妊娠反応)				金コロイド免疫クロマト法				3	3	15分		
尿中BTA(泌尿器外来専用)	(－)			ラテックス凝集法			不可	3	5	30分	×	
便潜血(免疫法)	0-99	ng/mL		ラテックス免疫比濁法			冷蔵			30分	×	冷蔵保存で7日 間
	(－)											
精液検査 (スクリーニングは下記の全項目) (人工受精(AIH)は※項目のみ)					精液	PP遠沈管	不可	0.6 0.1※	0.6 0.1※	60分	×	2024年3月4日より 方法変更
精子濃度	16以上	10 ⁶ /mL	光学法(SQA-V)									WHO精液検査ラ ボラトリーマニ ュアル第6版 (2021)に準拠
運動率	42以上	%										
正常形態率	4以上	%										
精液量 ※	1.4以上	mL										
運動精子濃度 ※	設定なし	10 ⁶ /mL										
平均精子速度 ※	設定なし	μm/秒										
SMI ※	設定なし											
総精子数	39以上	10 ⁶ /精 液中										
総運動精子数	設定なし	10 ⁶ /精 液中										
【血中薬物濃度】												
ティコプラニン	10.0-30.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
アルベカシン	ピーク9-20 トラフ<2.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
バンコマイシン	10.0-20.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
ゲンタマイシン	ピーク8.0-20.0 トラフ<1.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
フェノバルビタール	10.0-25.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日ま で
フェニトイン	10.0 - 20.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日ま で
カルバマゼピン	4.0-12.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日ま で
バルプロ酸	40.0-120.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
テオフィリン	5.0-20.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
ジゴキシン	0.5-2.0	ng/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日ま で
メトレキサート	設定なし	μmol/L		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
シクロスポリン	設定なし	ng/mL		ACMIA法	EDTA全血	EDTA管	凍結	0.5	5	60分		
タクロリムス	設定なし	ng/mL		ACMIA法	EDTA全血	A管	凍結	0.5	5	60分		EDTA影響あり 2 mL厳守
リチウム	0.60-1.20	mmol/L	有	吸光光度法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
アセトアミノフェン	設定なし	μg/mL		酵素法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
エチルアルコール(血中)	0.0-3.0	mg/dL		酵素法	血清	C茶管	不可	0.5	5	60分		アルコール消毒禁止 開栓不可
ミコフェノール酸モフェチル	設定なし	μg/mL		改良型免疫阻害比濁法 (PETINIA法)	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
【迅速抗原検査】												
アデノウイルス抗原【結膜】	(-)			IC法	結膜ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原(IC法)【便】	(-)			IC法	便	滅菌スピッツ	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要 連絡8501
アデノウイルス抗原【結膜】北里関係 者	(-)			IC法	結膜ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【咽頭】北里関係 者	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原(IC法)【便】北里 関係者	(-)			IC法	便	滅菌スピッツ	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要 連絡8501
ロタウイルス抗原【便】	(-)			IC法	便	滅菌スピッツ	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要 連絡8501
インフルエンザウイルス抗原【鼻腔】	(-)			IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【鼻腔】 北里関係者	(-)			IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【咽頭】 北里関係者	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
RSウイルス抗原【鼻汁】	(-)			IC法	鼻汁ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
RSウイルス抗原【喀痰】	(-)			IC法	喀痰	喀痰容器			適宜	30分		
尿中レジオネラ抗原	(-)			IC法	尿	滅菌スピッツ	凍結	0.5	5	30分	×	
尿中肺炎球菌夾膜抗原	(-)			IC法	尿	滅菌スピッツ	凍結	0.5	5	30分	×	
CDTキシン	(-)			IC法	便	滅菌スピッツ	冷蔵	0.5	0.5	30分	×	至急の場合要 連絡8501
A群ベータ溶血連鎖球菌抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
百日咳菌抗原【鼻咽頭】	(-)			IC法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ	凍結		適宜	30分	×	2021年10月より 開始
ヒトメタニューモウイルス抗原【鼻腔】	(-)			IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
肺炎球菌抗原【喀痰・咽頭】	(-)			IC法	喀痰 咽頭ぬぐい	滅菌容器 咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
マイコプラズマ抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原【皮疹 内容】	(-)			IC法	皮疹内容物ぬぐい	スポンジスワブ	冷蔵		適宜	30分	×	2018年10月より 開始
単純ヘルペスウイルス抗原 【性器・皮疹内容】	(-)			IC法	性器ぬぐい 皮疹内容物ぬぐい	スポンジスワブ	冷蔵		適宜	30分	×	2023年6月より 開始
【遺伝子・染色体】												
MAJOR BCR/ABL キメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1～2 日	×	採血量厳守、直ぐ 提出 預かり不可だが 全血冷蔵保存
MINOR BCR/ABLキメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1～2 日	×	採血量厳守、直ぐ 提出 預かり不可だが 全血冷蔵保存
PML/RARα-1キメラ RNA (15:21)定 性	(-)			RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1～2 日	×	採血量厳守、直ぐ 提出 預かり不可だが 全血冷蔵保存
MAJOR BCR/ABL キメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2 日	×	採血量厳守、直ぐ 提出 預かり不可だが 全血冷蔵保存
MINOR BCR/ABLキメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2 日	×	採血量厳守、直ぐ 提出 預かり不可だが 全血冷蔵保存
PML/RARα-1キメラ RNA (15:21)定 性	(-)			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2 日	×	採血量厳守、直ぐ 提出 預かり不可だが 全血冷蔵保存
minor BCR/ABL mRNA定量	設定なし			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2 日	×	採血量厳守、直ぐ 提出 預かり不可だが 全血冷蔵保存
Leber DNA				Direct sequence MGB-Probe	血液	EDTA管	不可		5	4～6 日	×	
SARS-Cov-2 PCR	(-)			RT-PCR法	唾液	滅菌容器	凍結	1	1	1日	×	採取イントラネット 参照
SARS-Cov-2 PCR	(-)			RT-PCR法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ +滅菌生食 1mL	凍結	1	1	1日	×	採取イントラネット 参照

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
FilmArray髄膜炎・脳炎パネル	(-)			マイクロレバ法	髄液	滅菌スリット	凍結	0.6	0.6	2時間	×	残検体での検査不可 平日15時まで受付、以降は翌平日まで預かり 2023年4月17日より開始
HLA DNA Typing献腎(A,B,DR)				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2〜3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA Typing生体レシピエント(A,B,DR)				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2〜3日	×	残検体での検査不可 必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA Typing生体ドナー(A,B,DR)				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2〜3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA TypingDQ				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2〜3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
リンパ球クロスマッチ レシピエント				FCM	血液	C茶管	不可	3	5	2〜3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
リンパ球クロスマッチ ドナー(C茶管+H管)				FCM	血液	H管 C茶管	不可	15 3	15 3	2〜3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
先天性疾患染色体G-Band【末梢血】	設定なし			G-Band法	末梢血	H管	不可	1	5	2〜3週間	×	採血困難な場合は ヘパリン加シリ ンジにて提出。 凝固しないよう よく混和
先天性疾患染色体G-Band【臍帯血】	設定なし			G-Band法	臍帯血	ヘパリンシリ ンジ	不可	1	5	2〜3週間	×	ヘパリン加シリ ンジにて提出。 凝固しないよう よく混和
先天性疾患染色体G-Band【絨毛】	設定なし			G-Band法	絨毛	専用容器	不可	適宜	適宜	1ヶ月	×	専用容器は検査 室へ 気送管禁止、直 接検査室へ
先天性疾患染色体G-Band【組織】	設定なし			G-Band法	組織	専用容器	不可	適宜	適宜	1ヶ月	×	専用容器は検査 室へ 気送管禁止、直 接検査室へ
出生前染色体G-Band【羊水】	設定なし			G-Band法	羊水	専用容器	不可	15	15	3週間	×	著しい血液混入 はヘパリン添 加。 気送管禁止、直 接検査室へ
【輸血】												
CD34	設定なし	/μL		フローサイトメトリー法	EDTA血液	A管	不可		2	1〜2時間	×	輸血センター に予約
輸血検査(交差試験・不規則抗体検査)	陰性 陰性 陰性			カラム凝集法 間接抗グロブリン法 酵素法(フィシン法)	血漿・血球 血清	輸血検査用・ C茶管	遠心後冷蔵	7 4	7 4	40分		血液型検査と 輸血検査 (交差適合試験・不規則抗体)は、異なる 時点での採血をしてください。 残検体での検査不可
ABO・Rh(D)血液型				カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		血液型検査と 輸血検査 (交差適合試験・不規則抗体)は、異なる 時点での採血をしてください。 残検体での検査不可 生後4ヶ月以内 はABOオモテ検査のみ(ABOウ ラ未実施)で報告。

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
臍帯血ABO・Rh(D)血液型				カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		血液型検査と 輸血検査 (交差適合試験・不規則抗体)は、異なる時点での採血をしてください。 残検体での検査不可
直接クームス試験	陰性 O O			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		室温保存で速やかに提出
臍帯血直接クームス試験	陰性 O O			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		
間接クームス試験	陰性 O			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	30分		
間接クームス試験(輸血予定患者用)	陰性 O O			カラム凝集法 間接抗グロブリン法 酵素法(フィシン法)	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	40分		
臍帯血間接クームス試験	陰性 O			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	30分		
抗体価測定(母児不適合妊娠)				試験管法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	1～2日	×	事前に電話にて予約
臍帯血抗体価測定(母児不適合妊娠)				試験管法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5		1～2日	×	事前に電話にて予約
腎移植用抗A抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
腎移植用抗B抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
抗A抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
抗B抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
輸血前感染症検査					血清	C茶管	冷蔵	6	6		×	
輸血後感染症検査(輸血後2～3ヵ月後に実施)					血清	C茶管	冷蔵	6	6		×	
【微生物】												
細菌【呼吸器系由来】				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	喀痰	喀痰容器	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	鼻腔	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	口腔	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	歯肉	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	舌苔	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	咽頭	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	気管内吸引物	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	気管支洗浄	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	呼吸系カチツツ	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
細菌【消化器系由来】				培養同定・薬剤感受性	便	細菌便容器	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胃液	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	十二指腸液	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胆汁	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	膵液	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	大腸	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	消化器系 カチツツ	滅菌シビツツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
細菌【血液穿刺液】				培養同定・薬剤感受性	血液	カルチャーボトル	室温			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	穿刺液	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	髄液	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胸水	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	腹水	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	関節液	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	心嚢液	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	骨髓穿刺液	ヘパリン添加	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	羊水	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	前房水	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	水泡内容物	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	腫瘍内容液	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性	血液カテ	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性	穿刺カテ	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
細菌【皮膚糸状菌検索】				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	皮膚	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	組織	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	爪	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	鱗屑	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	毛髪	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
細菌【泌尿生殖器由来】				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	尿	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	膀胱穿刺液	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	尿道分泌物	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	膣分泌物	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	頸管内容	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	腔内容	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	子宮内用	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胎盤	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	外陰部	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性	泌尿生殖器系がチップ	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
細菌【その他】				培養同定・薬剤感受性 塗抹	膿	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	浸出液	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	PD排液	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	ドレーン	滅菌スリッ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	皮膚	シードスワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	眼脂	シート・スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	耳漏	シート・スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	扁桃	シート・スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	リンパ節	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	組織	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	骨	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	爪	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	鱗屑	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	毛髪	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	角膜	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	肺臓	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	腎臓	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	臍	シート・スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹	その他	滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
細菌【骨バンク専用】				培養同定		滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定		滅菌シビツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
抗酸菌【呼吸器系由来】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	喀痰	喀痰容器	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	咽頭	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)・PCR	胃液	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹	気管支挿過	スライド・ガラス	冷蔵			1～2 日	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	気管内吸引物	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	気管支洗浄	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	呼吸系がっつ	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
抗酸菌【消化器系由来】				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	便	滅菌容器	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	大腸	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
抗酸菌【泌尿生殖器由来】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	尿	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	尿道分泌物	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	陰分泌物	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	膀胱洗浄液	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
抗酸菌【血液穿刺液】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)・PCR	血液(PCR)	EDTA管	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
					血液(培養)	ヘリン管	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	穿刺液	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	髄液	滅菌シビツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意

項 目 名	基準値		小児 基準値	測定方法	材 料	容 器	預り 保存法	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	胸水	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	腹水	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	関節液	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	心嚢液	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	骨髓穿刺液	ヘパリン添加	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	PCRはEDTA管、 培養はヘパリン
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	水泡内容物	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	腫瘍内容液	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
抗酸菌 【その他】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	膿	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	浸出液	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	皮膚	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	耳漏	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	扁桃	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	リンパ節	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	組織	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	骨	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	骨髓	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	肺臓	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	脾臓	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	肝臓	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	腎臓	滅菌スリッ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	その他	滅菌容器	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚 染に注意

JCCLS共用基準範囲
 試薬添付文書
 基準範囲根拠: 臨床検査提要第35版
 学会推奨値など
 詳細は各手順書参照